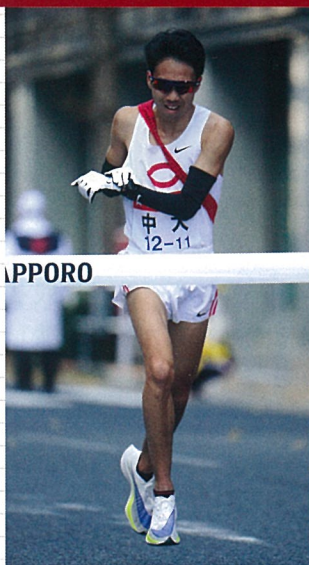


年次支部ニュース

第14号



左:箱根駅伝復路ゴールする川崎新太郎選手(経4) 右:多摩キャンパスに建設された「グローバル館&国際教育寮」と「学部共通棟」(右)

2021年 ご卒業まことにありがとうございます

中央大学学員会会長

久野 修慈



今年、卒業された皆さんは社会人として、あるいは大学院等に進まれる方もいるでしょう。どちらに進んでも中央大学の卒業生として学員(同窓)となるわけです。今年の卒業生は、新型コロナウイルスの脅威の下、授業もオンラインによる自宅等での受講となり、これまで経験しなかった生活パターンを経験されて卒業されたわけです。卒業された皆さんはそれぞれの企業に就職しても従来のような働き方からデジタル化の推進を目指した企業の姿に直面するでしょう。予測していなかった企業経営の下で職場に入り社会人として成長していくこととなります。

中央大学学員会は、約57万人の全卒業生で構成されている団体です。学員会の目的は、母校中央大学の支援と会員間の親睦交流にあります。

近年の社会の課題として、デジタル化の推進、更には少子高齢化のもとで、人生100年時代といわれています。大学で学んだことをベースに、特定の企業で定年を迎えても、更に学びと仕事を継続してご自分を高めていくことが望まれます。中央大学では平成27年に中長期事業計画が策定され新校舎の建設が進んでいます。また学員会本部が入居していた駿河台記念館は、20階建てのシンボルタワーとして建て替えられます。大学入試志願者の減少など大学間競争も激化する中で、中央大学は、資格試験、スポーツでも目覚ましい成果を上げています。スポーツ等通じて人間力の向上健康維持にも結び付けることが期待されています。

学員会としても学員が一丸となって支援していく所存です。皆さん

は、これから社会人としてより充実した人生を謳歌することを期待しているでしょう。学員会の構成は、各卒業年度毎に構成する年次支部があり、各支部を横断的に交流する年次支部協議会が幅広く活動しています。また、全国の都道府県に地域の支部、職業区分による職域支部があります。

卒業生は、希望する支部を選んで入会できます。学員会と関わりをもち活用してください。そして、交流のネットワークの下にゆるぎない絆となり、終生交流を図れるでしょう。

卒業生の皆さん、明るく健康で気概のある若者となって国内外の企業や地域社会、学校などでお役に立てるよう前進してください。我々は、皆さんが各支部に入会されることを心待ちにしています。どの支部も若い学員を大歓迎しています。

Cのマークを担う心意気

新卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。
「卒業おめでとう特集」では、新卒業生を代表して陸上部駅伝選手にアンケートをお願いし、メッセージをいただきました。
駅伝は中央大学の花！
それをあえて担おうとした心意気を感じてください。



復路ゴールする川崎選手(左)と抱きかかえる池田主将(右)

◆池田勸汰主将へのインタビュー

——今年のチームはどんなチームでしたか？

池田 温かいチームで、自分を含め個性豊かなチームでした。

——「Cのマーク」はプレッシャーでしたか？

池田 ゼロではありませんでした。特に結果が出ない時は重く感じました。

——主将として一番に心がけたことは何ですか？

池田 「感謝・恩返し・思いやり」の気持ちを持つことです。

——主将になって良かったと思うことは？

池田 経験です。この一年は自分の立場でしか感じられないことが多かったですから。主将をしていなければ見えないものも多くあったと思います。

——森風也新主将へ託する思いを教えてください。

池田 間違いなくチームは強くなっています。自分のやりたいようにチームを動かせばうまくいきます。新チームを楽しみにしています!! 頑張れ!!

◆アンケート

池田 勸汰
(商学部会計学科)



Q1 今年の箱根駅伝について一言

A 主将として大きな結果を出せなかった。申し訳ない。

Q2 学生生活で心に残る思い出は？

A チームでやる楽しさ、難しさ。人の温かさ。

Q3 卒業後の進路、今後の目標は？

A 中国電力で競技を続けます。中国電力を強いチームにする。世界の大会(マラソン)で戦える選手になる。

Q4 母校中央大学への思いを！

A 中央大学には4年間で多くの経験をさせていただいた。恩返しとして結果を残したかったが4年間で大きな結果が残せなかった。

これからは中大出身として恥じない結果を出す行動をしていきたい。中央大学、ありがとう!!

畷 拓夢
(法学部法律学科)



Q1 今年の箱根駅伝について一言

A 最後の箱根駅伝でしたが思うような走りができず、悔しい思いや申し訳なさ、後悔が残っているというのが正直な気持ちです。その状況でも復路組5人諦めずに前を追い続け、順位を7つ上げて総合12位、復路3位という結果には感謝しかない。

力を出し切れば結果を残せたチームなだけに改めて悔しさを感じます(5区：区間18位)。

Q2 学生生活

で心に残る思い出は？

A 1年時の予選会が一番心に残っている大会です。中央大学を応援してくださる方がこんなに多いのかと身に染みて感じた初めての大会であり、本当に自分は凄い環境で競技をさせてもらえるのだと感じました。結果としても予選落ちから1年、3位で通過できた喜びは今でも覚えています。初めて人生で嬉し泣きを経験した大会でもあります。

また、個人の走りとしても4年間で一番、力以上の結果を残せた大会なのではないかと思います。

Q3 卒業後の進路、今後の目標は？

A 卒業後は日立物流陸上競技部で競技を継続させていただきます。

1年目の目標はトラックレースで結果を残し、今年ニューイヤーで4位となった強いチームの一員として駅伝を走ることです。

競技生活での目標はニューイヤー駅伝での初優勝と、マラソンで日本トップクラスの方々と戦える力をつけることです。

Q4 母校中央大学への思いを！

A 大学での競技では思うような結果を残せませんでした。今の選手・スタッフ、今後入学してくる選手たちには満足のいく結果を残して卒業してほしいと思います。確実にポテンシャルはあるので、きっかけを掴めれば大きく飛躍すると思います。

今年からは一人のOBとして陰ながら中央大学の活躍を期待し、応援しています。



往路ゴールする畷選手

駅伝選手アンケート

大森 太楽

(文学部人文社会学科)



Q1 今年の箱根駅伝について一言

A 力不足で出走することができず個人としては悔しい思い出になった。

しかし共に練習してきた仲間が堂々と戦っているのを見て誇らしかったし、自分も必ずやれるはずだという気持ちになった。

Q2 学生生活で心に残る思い出は？

A 思い出はたくさんあり過ぎるが、4年間で得たものは何事にも積み重ねが一番大切であるということ。

Q3 卒業後の進路、今後の目標は？

A 中国電力さんで競技を継続させていただきます。地元(鳥取県)に近い場所で続けられるので鳥取で陸上をやっている選手たちに影響を与えられる選手を目指したい。

直近の目標はニューイヤー駅伝を走ること。

Q4 母校中央大学への思いを！

A 来年以降も強い選手がたくさん残るので、見ている人を驚かせるような走りを見せてほしい。自分も実業団で結果を出してお互いに刺激し合えるような関係でありたいと思う。

加井 虎造

(文学部人文社会学科)



Q1 今年の箱根駅伝について一言

A 悔しい結果になった。

Q2 学生生活で心に残る思い出は？

A 重要な大会で失敗してしまった。

Q3 卒業後の進路、今後の目標は？

A 実業団で自分の限界にチャレンジする。

Q4 母校中央大学への思いを！

A たくさんの思い出を作ることができました。

川崎 新太郎

(経済学部経済学科)



Q1 今年の箱根駅伝について一言

A 結果としては思うようにいかないこともあったが、良い駅伝だったと思います。

Q2 学生生活で心に残る思い出は？

A たくさんの関わりができたこと。一番の思い出は4年時の10区(区間5位:写真表紙)。

Q3 卒業後の進路、今後の目標は？

A 一般就職。目標は進み続けること。

Q4 母校中央大学への思いを！

A これからもっと強くなる中央大学に期待しています。

眞田 翼

(商学部会計学科)



Q1 今年の箱根駅伝について一言

A 悔いの一言です。

Q2 学生生活で心に残る思い出は？

A 3年時に主務をさせてもらったのが個人としては一番の思い出です。嫌なこと、苦手なことばかりでしたが、自分が成長できた一番のきっかけだと思います。

Q3 卒業後の進路、今後の目標は？

A 一般企業。目標、今はなし。

Q4 母校中央大学への思いを！

A 4年間、競技で結果を残すことはできませんでしたが、人として成長できた4年間だったと思います。ありがとうございました。

萩原 璃来

(法学部法律学科)



Q1 今年の箱根駅伝について一言

A 開催されて良かった。

Q2 学生生活で心に残る思い出は？

A 夏合宿

Q3 卒業後の進路、今後の目標は？

A 就職

Q4 母校中央大学への思いを！

A 来年こそは!!

三須 健乃介

(文学部心理学科)



Q1 今年の箱根駅伝について一言

A 厳しい結果



オニエゴと競る三須選手(4区:区間8位)でしたが、全員が力を出し切れませんでした。

Q2 学生生活で心に残る思い出は？

A 2年時の箱根駅伝(3区:区間16位)。この悔しさがあったからこそ4年間頑張れました。

Q3 卒業後の進路、今後の目標は？

A JR東日本。ニューイヤー駅伝優勝。

Q4 母校中央大学への思いを！

A ここで4年間陸上できたことが、僕の人生の財産です。

矢野 郁人

(商学部会計学科)



Q1 今年の箱根駅伝について一言

A チームとして最後まであきらめずに戦うことができ、意地は見せられたと思います。

Q2 学生生活で心に残る思い出は？

A 2年時の箱根駅伝(8区:区間8位)。いろいろな経験を得られた。

Q3 卒業後の進路、今後の目標は？

A 実業団に行くこと。

Q4 母校中央大学への思いを！

A トップに返り咲いてほしい。

(箱根再挑戦の為卒業を1年見送ります)

風よ変われ、青天を衝け

学会副会長 大木田 守
(中央大学理事、北区支部長)



風よ、変われ 新年は、進年で
コロナ禍の中で私達の暮らしの姿
は大きく変わり、誰もが新しい日常
を手さぐりで探し求めている。

こういう時代は、「知識」による
「判断」ではなく「見識」による「決断」
が大事だと思う。

この2月、二つのことに注目して
いる。

一つは、新一万円札の肖像に決まり、
「青天を衝け」でNHK大河ドラマがス
タートする、主人公渋沢栄一である。

「日本資本主義の父」と呼ばれ、
銀行、鉄道、製紙会社など生涯関
係した企業は約500社、社会事業は
600団体にのぼる。

私の家の近くに桜で有名な飛鳥山
がある。ここは江戸時代のワンダー
ランドと言われ、八代将軍吉宗が
1200本の桜を植えて大いに賑わった。

庶民の楽しみの場であった。

渋沢翁は幕末に生まれ、飛鳥山に
は明治12年に別荘、明治34年には
本邸を構えた。

中央大学が明治18年の建学だか
ら、まさに近代日本の開花期にあた
る。渋沢はここを拠点に民間外交を
展開、日本の近代化に大きく貢献した。

この飛鳥山に2月20日(土)「渋沢×
北区 青天を衝け大河ドラマ館※」
がオープン。渋沢の思想と行動の展
示は、NHK大河ドラマと共に楽しみ。

もう一つは、発展を続ける母校中
央大学。昨年夏、文京区茗荷谷に法
学部都心移転の地鎮祭が行なわれ、
建設の槌音が高まる。

2月5日に駿河台記念館建て替え
の地鎮祭。いよいよ白門の聖地に未
来にそびえ立つキャンパスが建設さ
れる。そこには当然、我らの学会

本部も入る。

外観のイメージコンセプトは歴史
と未来、これまでの中央大学の歴史
を礎に、多様性を束ねた未来に向
かって上昇するさまが超高層のボ
リュームで表される。

低層部は学生の動きによる軽快さ
が、重量感や品格を感じる石材とマッ
チして静と動の存在感を醸し出す。

上層は軽快なガラススリットで、秋
霜烈日、霜の如き厳格さと陽射しのよ
うな暖かさが溢れる造りになっている。

茗荷谷の法学部も駿河台記念館の
建て替えも2023年に完成する。多
摩はグローバル館、国際教育寮に続
いて学部共通棟も完成した。

時代は「円」から「楕円」へ。中央
大学は都心と多摩という二つの軸の
整備が進み、総合大学として大いに
発展していく。

「燃えよ中央！」卒業生の総力を
結集して母校を支えていきたい。

注：※北区渋沢栄一プロジェクト、
東京23区初の大河ドラマ記念館、
2月20日(土)オープン

新型コロナ禍における 卒業50周年

学会副会長、白門45会支部長
相場 有二



令和元年の11月15日発行の会報
白門45録では令和2年3月15日に白
門44会と合同で「卒業50周年、支部
創立30周年の記念祝賀会に集まろ
う」と書いたのですが新型コロナウ
イルスの流行拡大で祝賀会も支部総
会も忘年会までもが実施されなま
まとなっております。

中央大学でも対面授業はほとんど
行われずオンライン授業となってお
り、若き後輩達が大変な苦勞をして
勉学に励んでおられることに心より
敬意を表します。特に入学後慣れな

い環境の中、アルバイトも思うよう
にならず、クラスメートと会うこと
もない、何のために入学したのだと
思い悩むことも当然だと思います。
他大学も同様、中央大学と比べて特
に有利な環境に置かれていると思
いません。

この苦しさを乗り越えるのが白門
中央大学の誇りと思い前進してくだ
さい。

我々の学生時代にも学園紛争で勉
学に集中することがかなわなかった
環境もありました。

昭和45年の卒業から28年後の平
成10年に開催された45会定時総会
に参加し、会のイベント、伊香保温
泉や秩父旅行など参加するうちに大
学時代とは別に充実した時間を同
期の皆さんと共有することができ、
平成24年7月には白門45会支部長、
爾来学会常任幹事、年次支部協議
会代表幹事などを経て、45会支部
長のほか中央大学学会副会長とし
て母校中央大学、学会発展のため
微力ではありますが各種活動に参加
するなど充実した日々を過ごさせて
いただいております。

新型コロナウイルスの感染が依然
として続いておりますが、くれぐれ
もご自愛くださいますようご祈念申
し上げます。

中央大学 南甲倶楽部とは

南甲倶楽部事務室長
成田 清治

中央大学は建学以来、法曹界、政界、スポーツ界など各界に多数の人材を輩出してきました。その中であって経済界は最も多くの学员(卒業生)を擁し、その時々時代を先導する偉大な人材を育ててきました。

南甲倶楽部は、1952年(昭和27年)に中央大学を卒業し経済界で活躍する先輩方により、会員相互の親睦と研鑽および母校の発展に寄与することを目的として設立されました。

現役の経営者のみならず経済界において自己実現(夢の実現など)を目指す様々な立場の同窓生が集う場、それが南甲倶楽部です。

同窓が集うさまざまなイベントは、信頼できるネットワークづくりの場となります。

また、各種講演会や見学会・交流会など異業種交流のイベントも開催しています。これらの活動を通して得られた信頼関係は、ビジネスにも活かされています。

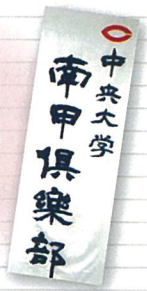
皆さん、南甲倶楽部の仲間に加わり一緒に活動しましょう!奮ってご参加ください。

入会申込(お問合せ)先

東京都千代田区一ツ橋2-6-3
一ツ橋ビル4階 南甲倶楽部事務室
TEL. 03-6261-1607

南甲倶楽部の由来

倶楽部の名称は、大学の旧校舎(駿河台校舎)が南甲賀町に所在していたことに因んだもので、初代会長・俣野健輔の命名によるものです。



- 浅田 剛夫 井村屋グループ 代表取締役会長
- 足立 直樹 凸版印刷 特別相談役
- 石川 英治 全国保証 代表取締役社長
- 今村 将也 東洋水産 代表取締役社長
- 上西京一郎 オリエンタルランド 代表取締役社長
- 江連 三芳 ハウスメイトパートナーズ 代表取締役会長
- 大越 博雄 マブシモーター 代表取締役社長
- 荻原 祀男 豆蔵ホールディングス 代表取締役会長
- 奥村太加典 奥村組 代表取締役社長
- 奥村 洋治 フジタ 代表取締役社長
- 加藤 照和 ツムラ 代表取締役社長
- 木村 清 喜代村 代表取締役社長
- 熊坂 隆光 産経新聞社 相談役
- 捧雄 一郎 コメリ 代表取締役社長
- 鈴木 敏文 セブン&アイ・ホールディングス 名誉顧問
- 多田 憲之 東映 代表取締役社長
- 塚原由紀夫 三愛石油 代表取締役
- 堤 和也 川崎信用金庫 理事長
- 中川 和久 大原学園 理事長
- 仲摩 俊男 関電工 代表取締役社長
- 中村 栄輔 モスフードサービス 代表取締役社長
- 永井 英明 東海漬物 代表取締役社長

- 野島 廣司 ノジマ 代表取締役社長
- 早川 洋 テレビ朝日 代表取締役会長
- 久野 修慈 塩水港精糖 取締役会長
- 福井 正一 フジッコ 取締役社長
- 二宮 雅也 損害保険ジャパン日本興亜 代表取締役会長
- 牧 俊夫 中部テレコミュニケーション 代表取締役会長
- 御手洗富士夫 キヤノン 代表取締役会長
- 村田 和夫 佐藤商事 代表取締役会長
- 矢内 廣 ぴあ 代表取締役社長
- 矢野 博文 大創産業 代表取締役
- 山本慎一郎 カスミ 代表取締役社長
- 芳井 敬一 大和ハウス工業 代表取締役社長
- 米山 勉 ヨネックス 代表取締役会長
- 渡邊 健二 日本通運 代表取締役会長
- 渡邊 壽信 東京さらばファイナンシャルグループ 代表取締役社長

【敬称略・五十音順にて掲載。紙面の都合により、一部のみ紹介させて頂きました】



文楽鑑賞会



総会風景



羽田工場見学会



民間教育最高功労賞を受賞した柳田副会長

柳田晋次 学員会副会長・
年次支部協議会顧問 (S39 法卒)

民間教育最高功労賞 を受賞!!

2020年7月13日、学士会館（東京千代田区）にて日本民間教育大賞の授賞式が行われ、柳田晋次氏（日

米文化学院理事長・学院長）が、【民間教育最高功労賞】を受賞された。同賞は民間教育の発展に功績があった学習塾関係者らに贈られるもので、全国の学習塾広域団体の後援のもと、同団体から選出された選定委員からなる日本民間教育大賞選定会議が主催し、年1回【民間教育最高功労賞】【民間教育特別功労賞】を贈っている。

支部代表者による 白門オンラインミーティング

開催
される

コロナ禍対応の為、大村理事長や学員会正副会長にもご参加頂き、全国の各地域支部の代表者によるオンラインミーティングが2回にわたり開催され、各活動報告や活発な意見交換が行われた。どの支部でもコ

ロナ対応にはかなり苦慮されていて、今後暫くはZOOMなどを積極的に利用して交流することが必要になるので、良い機会になったようである。

第1回 2020/10/15

第2回 2020/12/17

1部では藤原駅伝監督の箱根駅伝に向けての講話

2部は職域支部、年次支部も参加



ZOOMによるオンラインミーティング

年次支部協議会 学生後援部の活動

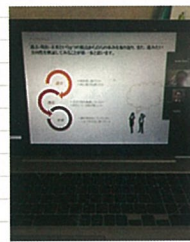
平成11年卒業の久保と申します。学員会年次支部協議会の活動の一つに、学生後援があり、今回、キャリア形成に関する施策と、準硬式野球の試合応援をご紹介します。

キャリア支援イベント

まず、キャリアセンターのご協力を得て実施しているキャリア支援イベントです。コロナ禍の影響で2020年は初めてオンラインで実施しました。社会人が場所を移動することなく参加できる利点を生かし、学生を取り巻く採用環境については、初めてメインイベント前の10/22～27に、計3回プレイベントとして実施しました。

プレイベント実施によるティザー効果があり、10/31のメインイベントでは、プレイベント参加者も多く参加されました。そのため、キャリア形成を考えるきっかけに焦点を絞り、学内外での活動等、今視野／

視座を広げる／高める機会が沢山あることをOB／OGが直にお話し、自分自身の学生生活をどうデザインするか、それを活



オンラインイベント

かして将来社会に出てどのように活躍したいかを真剣に考えて頂きました。参加者のアンケートからは満足度の高い結果は得られたものの、社会に出るための自信がつくまでには至らないとの声より、グループディスカッションでも必要となるスキルの一つである「コミュニケーション：合意形成」をテーマにしたワークショップと座談会を、アフターイベントとして2月4日に実施しました。

準硬式野球部応援

また、このコロナ禍でスポーツ大会が相次いで中止となる中、春は全面中止だった準硬式野球も、秋（10

月／11月）にはソーシャルディスタンスを保ち、コロナ感染拡大予防対策を講じながら、各試合少人数ではありますが応援に行かせて頂きました。幸運なことに、東都一部秋季リーグ戦、その後の関東地区王座決定戦の、どちらも優勝する場面に年次支部の応援者が立ち会えました。

節目の大会は全て強豪の日本大学との戦いで、手に汗握る白熱した試合、苦しい場面もありましたが、4年生が鼓舞し、選手一丸となって諦めずに立ち向かった状況をつぶさに見ることができ、大変感銘を受けたところです。2021年も試合が行われる際には、応援したいと思います。



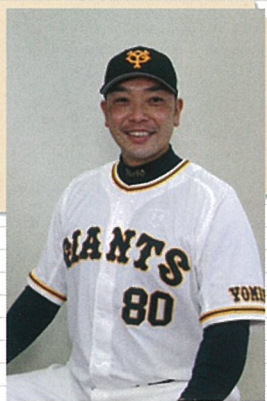
マスクをしての応援



優勝を決めた瞬間

奮闘!! 阿部慎之介巨人2軍監督

— プロアマ交流戦 & トークショー —



読売巨人軍提供

昨年8月13日G球場で中大のOB阿部監督率いる巨人2軍若手チームと監督の母校中大硬式野球部とのプロアマ交流戦が開催された。2019年秋季東都大学リーグ制覇に活躍した牧秀悟選手（今春、横浜DeNA入団）や五十幡亮太選手（日本ハム入団）も出場した中大打線の勢いが爆発し7-20で中大が勝利した。阿部監督は自軍の弱さにあきれつつも、内心は母校の成長に嬉しい気持ちもあったようだ。奇しくも、当日は中大時代の恩師宮井勝成元総監督の告別式の日でもあり、この結果に大喜びしたであろう故人を偲んだという。

現役時代数多くの記録を残しガッツある熱い男と言われた阿部監督は現役引退後、2020年より世代の

違う2軍の若手選手を育成しているがスポーツ報知主催のチャリティトークショーで選手育成の難しさを語られた一部をご紹介したい。【1軍の正捕手としてやってきた一世代前と、人も野球もかなり変化しているのはわかっていたが、ある野球部の高校生に怒られた経験がないと言われた時はかなり驚いた。今の子は褒めて伸ばすのも大事だが、当たり前のが出来ない時は基本的な人間教育は必要だと思うので厳しく対応する。鬼軍曹とよく言われるが心はそこまで鬼ではない。選手の体調、やる気状態などを愛用

の手帳に細かく付けながら観察していて、よかれと思いアドバイスすると、素直に試して見た目も良くなるのに、なぜか翌日には戻ってしまい「あれ何で？」みたいな時に、世代間ギャップを感じる。安易な方向転換は試みるが継続出来ず何かを見極めようとししない。今は大黒柱を頼りにするような時代ではないしデータや相性など色々な要素を緻密に考えることや練習も大事だが、プロなんだからもっと思いきり自分らしい野球をしてほしいと思う。2軍には未知の可能性を秘めた伸びしろしかないのだから】

スポーツは頑張って努力すれば夢が叶う訳ではなく、結果が全てという厳しい世界



でプロ選手になれるのは一握りでも、個人やチームを強くするのは容易な事ではない。指揮官としての阿部監督の益々の活躍を期待したい。

年次支部協議会 大学・学員交流部の活動

OB向け経済学部ゼミ学生による オンライン・プレゼン大会開催

(大学・学員交流部主催)

毎年恒例の経済学部ゼミ学生によるOB向けのプレゼン大会が、オンラインで2月7日開催された。5年目になる今年はコロナ禍の為、中止も考えたが、昨年はずっとの授業、ゼミ活動がオンライン利用になったこともあり、地道に続けてきた研究成果を発表する機会もリモートなら可能だとの事で、経済学部伊藤伸介教授のご厚意により3チームのプレゼンが実現した。

例年とは全く違うスタイルも、このような社会状況では新たな方式としてとり入れた新鮮かつ有意義な試みにもなった。年配OBの皆様にも

コロナ感染を心配しないで参加頂き、今回は多摩キャンパスお膝元の八王子支部や忙しい現役世代の若手OB達にも関心を持って参加頂けたのは今後の会運営にも大変心強い。参加者は総勢33名となった。3チーム発表テーマは①【地域活性化班】～八王子LINE公式アカウントで2020年9月に運用が開始された国内で利用者世代が幅広く利用頻度の高いLINEアカウントに着目、情報発信力アップやセグメント配信ほか有効な防災情報発信などを提案した。②【商品開発班】はゼミ生初の試みで歴史ある八王子ショウガを使ったドレッシングを市内レストラン等で販売。インスタ他の宣伝活動を使い地元メディアにも紹介された。



リモートによるプレゼン大会

③【観光班】は、コロナ禍でダメージの大きい観光業界に着目、東京近郊への関心の高まりと、観光客の少ない奥多摩町の活性化にもつながる奥多摩女子キャンプ1泊2日のビジネス観光プランを提案した。

当日は、今年の就活時期と重なり急遽、動画配信なども使った研究成果を発表したが、OBからの鋭い指摘コメントなどもあり現役学生との有益な交流の貴重な機会となった。

文化・学術部門

活躍した現役学生・チーム

スポーツ部門

「アグリカルチャーコンペティション2020」で審査員特別賞を受賞

2020年12月19日経済学部江川ゼミが大学生を対象とした農業・食・地域・農協に関するプレゼンテーション大会(全国14大学、44チーム)に参加し、「JAを介した契約取引の推進」を報告したチームが学術的研究分野で審査員特別賞を受賞しました。
この報告は農業所得向上につながる契約取引に取り組むJAを調査し、JAの役割と貢献を明らかにするものでした。

▶中央大学2020年度卒業式・大学院修士学位授与式(予定)

理系 2021年3月24日(水)予定 理工・理工学研究科 場所:後樂園キャンパス

文系 2021年3月25日(木)予定 法・経・商・文・総政・大学院5研究科

場所:多摩キャンパス

▶中央大学2021年度入学式(予定)

文系 2021年4月2日(金)予定 法・経・商・文・総政・国際経営・国際情報・大学院5研究科

場所:多摩キャンパス

理系 2021年4月3日(土)予定 理工・理工学研究科

場所:後樂園キャンパス

●陸上部

吉居大和(法1)
104回日本陸上競技選手権大会・長距離種目男子5000m
日本選手権3位&U20日本新更新



吉居大和選手(左)

●硬式野球部

プロ野球入団
牧秀悟内野手(商4)横浜DeNA
五十幡亮汰外野手(法4)北海道日本ハム

●準硬式野球部

東都大学秋季リーグ戦優勝
関東地区大学・社会人準硬式野球王座決定戦優勝

●卓球部

浅津碧利(文2)
関東学生卓球選手権大会男子シングルス43年ぶり優勝

●2020全日本大学自転車競技大会

トラック&ロード3種目優勝

●アイスホッケー部

関東大学アイスホッケーリーグ戦優勝

●ラクロス部

関東学生ラクロス2020特別大会2部優勝

【活躍した現役学生・チームは一部抜粋して紹介】

学生会からのお知らせ

▶2021年学生会全国支部長会議

2021年5月21日(金)14時~(予定)
多摩キャンパス(会場調整中)

▶2021年定時協議員会・定時学員総会

2021年5月22日(土)13時~(予定)
多摩キャンパス(会場調整中)

学生会から

卒業生全員に卒業を記念して

「卒業記念Mug Cup」を贈呈
(COACH)

~学員間の絆の広がり、学員間の親睦の証~

祝ご卒業



新規会員の参加を歓迎します!!

各年次支部は、同期会の集まりで大学、学生会会員との繋がりで活動しています。

▶スポーツ応援「陸上・水泳・野球・ラグビー他」(箱根駅伝の応援、東都大学野球応援、オリンピック選手などの応援ほか)

各年次支部の活動…好みの活動に任意に参加ができます。

▶会員間のビジネス交流で人脈の拡大、更に先輩・後輩との繋がりを醸成

▶趣味の一致で、幅広い交流とコミュニケーションの充実

▶同期生の各職専門家との交流で、信頼感をもって問題解決への導きを図る

▶講演会、セミナーなどへの参画により自身の教養などを向上させる

《加入などの問い合わせ》学生会事務局: 03-6261-1615

《年次支部ニュース 第14号》 2021年3月10日発行

発行者/中央大学学生会年次支部協議会

発行人/清野 強

編集/年次支部協議会広報部

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-3 一ツ橋ビル4階

TEL 03-6261-1615

印刷所/(株)ディスカバリー